

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

令和4年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
火山噴火継続期を想定した降灰地域内の土砂流出監視システムの開発 (研究期間：R4 年度～R6 年度)	工学院大学工学部機械システム工学科 准教授 羽田靖史	A
<研究概要> 本研究では、火山噴火継続期における火口周辺エリアのリル・ガリー浸食の発生および発達状況を定期的（継続的）に把握する技術を開発し、さらにその下流域（土石流の流下区間）において土石流の発生を検知する技術を開発することを目指す。当研究チームで開発してきた、降灰厚計測デバイスの運搬技術や適地選定技術を踏まえて、技術開発が著しい UAV や通信技術を活用し実用的な技術を開発する。		
<事後評価コメント> 本研究では、火山噴火継続期には立ち入り規制区域となる火口周辺域において、無人機器によって各種情報を監視計測する技術開発を行ったことは、火山噴火時の的確かつ迅速な災害対応への反映の観点で大いに評価出来る。 今後は、過年度開発デバイスを含めて、更に長期間のデータ収集やより多くの火山において試験・運用を行い、実用性を高めていただきたい。また、噴火中の火山など、より厳しい環境下での実用化に向けた検討も進めていただきたい。		

※評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった

B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった

C：一定の研究成果があった

D：研究成果があったとはいえない